スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 いすみ市

自 治 体 名 ： 千葉県いすみ市
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： 0470-62-3621

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

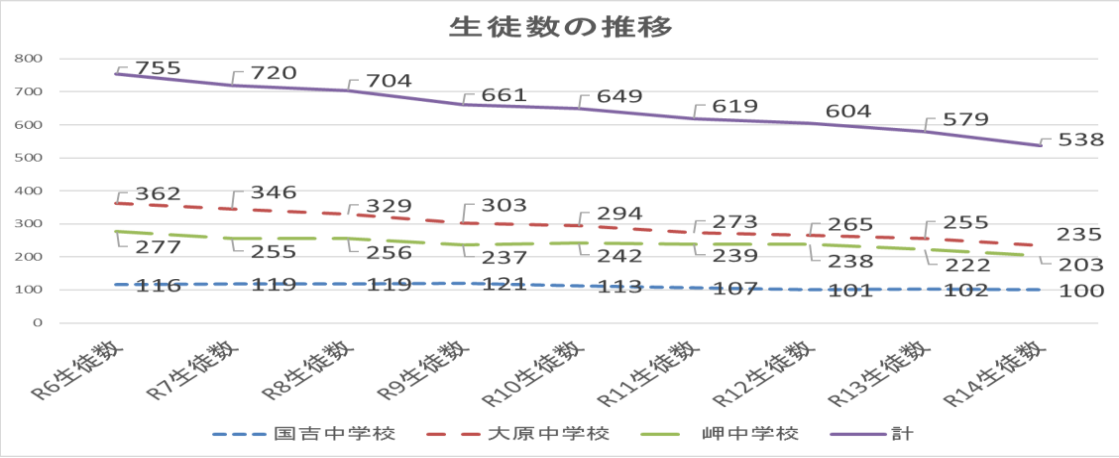
基本情報

面積	157.5 ㎢
人口	34,631人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	753 人
部活動数	24部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

・いすみ市の児童生徒は減少傾向にある。しかしながら、部活動を実施している競技数は従前のままの状態である。本年度、いすみ市スポーツ協会長やいすみ市文化団体連絡協議会長等を委員とする「いすみ市地域部活動推進協議会」を組織し、部活動の現状、活動団体の現状、中学生や保護者へのアンケート調査結果や他地域の状況等について情報共有し、今後の地域移行についての協議を実施している。

令和6年度には、市内で1部活動をモデル部活動として地域移行し、費用や送迎等の保護者負担、指導者の確保や研修等の課題を明確にし、その対応について「いすみ市地域部活動推進協議会」において協議、改善していく予定である。多くの生徒にとって最良な形で地域移行が進められる方策をモデル部活動の取組により検討していこうと考えている。・現在いすみ市内では、市スポーツ協会等、地域で活動するスポーツ団体があるが、人口の減少等により、休部状態の専門部が多い。市内の中学生を活動対象とするスポーツクラブもない状況である。数少ない受け皿となり得る団体に、どのような働きかけが必要となるか明確にし、市として支援していくことを明らかにしていかなければならない。

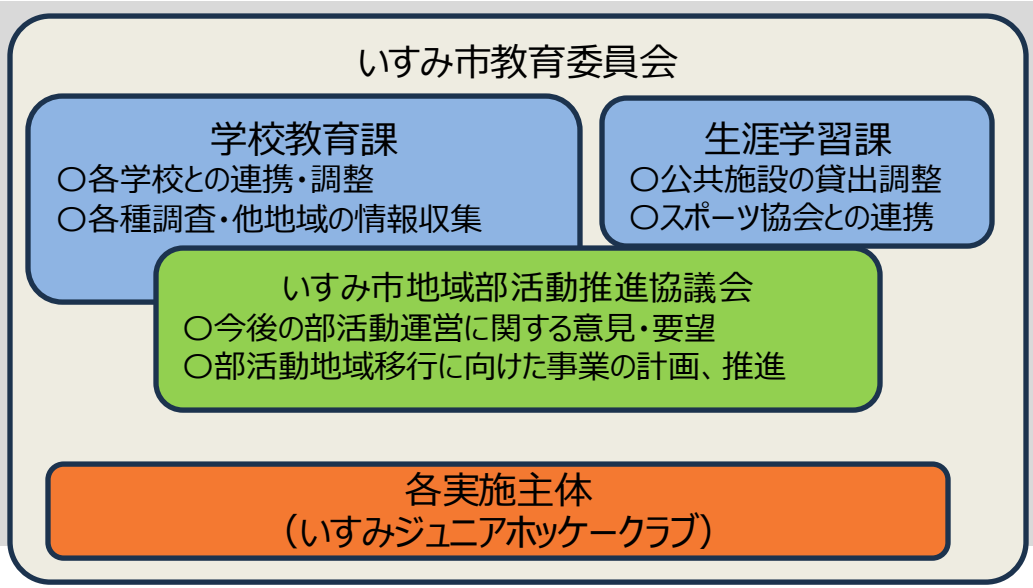


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・学校教育課・・・部活動の主幹、学校との連携・調整、いすみ市地域部活動推進協議会の運営、学校に関する事項について

・生涯学習課・・・スポーツ協会との連携

◉首長部局

・財政課・・・予算措置

年間の事業スケジュール

令和６年５月	第１回協議会の実施
令和６年６月	クラブとの意見交換
令和６年７月	クラブとの調整
令和６年８月	クラブとの調整
令和６年10月	第２回協議会の実施
令和６年10月	実施要綱作成
令和６年10月	ホッケークラブによる休日の活動を開始
令和７年２月	クラブ、指導者への聞き取り
令和７年２月	第３回協議会の実施

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（1 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	8 人	全体の運営スタッフ数	9 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
いすみジュニアホッケークラブ	地域クラブ	ホッケー	土または日曜 週１回	8:30～ 11：30	1年4人 2年11人 3年７人	通年	いすみ市総合グラウンド	8 人	1 人	なし	例） 中体連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

なし

2.実証内容と成果

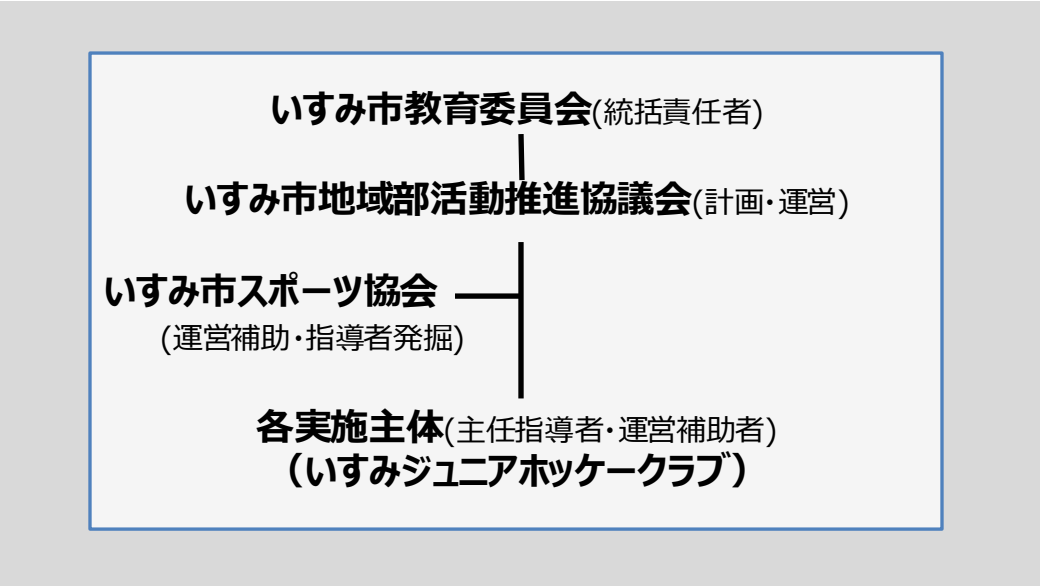
スポーツ庁

主な取組例

●いすみジュニアホッケークラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ホッケー
運営団体名	いすみジュニアホッケークラブ
期間と日数	10月１日 ～ ２月28日 週1回程度
指導者の主な属性	クラブ指導者 教員の兼職
活動場所	いすみ市大原グラウンド
主な移動手段	保護者の送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	なし
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者　1名（教育委員会）

役割：活動における管理者として、学校、クラブとの連携を行う

●主任指導者　1 名

役割：活動における主任者として、生徒への指導、家庭との連携を行う

●運営補助者　7名

役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項	関係機関との調整および連携を広域的に執り行う役割を市教委が担い、円滑的な実施体制を整備する。
取組の成果	・いすみ市地域部活動協議会を、市教育委員会が中心となって行うことにより、市スポーツ協会や学校等と連携をスムースに行うことができ、今後の地域移行について協議することができた。 ・学校やいすみホッケークラブとの連絡調整、指導者に対する謝金の支払いを円滑に行うことができた。 ・地域移行の目指す姿、解決すべき課題、進め方等が、より明確になった。 ・近隣市町と連携した地域移行についての必要性について関係者間で共有し一歩踏み出すことができた。
特に工夫した事項	・市の現状を踏まえた持続可能なスポーツ・文化環境を構築するため、協議会委員については以下の人材を取り入れた。 〇各校ＰＴＡ会長　〇市スポーツ協会長　〇市スポーツ少年団長　〇市文化団体連絡協議会長　等 ・市ホッケー協会、市生涯学習課等と連携し、よりよい体制について協議を重ねることができた。
今後の課題と対応方針	・次年度は、より学校の状況を反映させられるよう、委員の構成については部活動担当教員等、実際に指導している立場の方を加えることにより、学校の状況について地域に発信していけるようにしたい。 ・近隣市町からの生徒の受け入れや、大会への参加について検討事項が増えることが予想される。そこで、関係団体や関係機関とより密接に連携しながら、情報収集に努め、協力できる体制づくりに努めたい。 ・協議会での協議内容について、地域や保護者に情報提供することで、地域移行について理解を得ていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

関係機関との調整および連携を広域的に執り行う役割を市教委が担い、円滑的な実施体制を整備する。

取組の成果

・いすみ市立中学校地域部活動実施要綱を整備し、地域移行を進めるための一歩を踏み出すことができた。
・兼職・兼業についての手続き整備を行い、ホッケー競技において指導者の確保につながった。

特に工夫した事項

・実施要綱を作成する際、特定競技を対象とするものでなく、どの競技にも適用できるようにした。
・兼職・兼業については、確認事項を明確にした。また、近隣市町と情報共有した。

今後の課題と対応方針

・要綱整備により、競技団体、指導者との調整ができ次第、地域移行できるようになっている。地域移行の可能性のある競技団体、指導者との調整を図っておく必要がある。各中学校、スポーツ協会と連携し、競技団体、指導者の確保に努める。
・競技団体が複数ある種目については、地域部活動と位置付けるための基準を設定することが必要になる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項	生徒の安全確保に加え、暴言やハラスメントなどの行為の根絶を求めるほか、部活動の意義や役割を理解するための研修の実施を促進する。
取組の成果	・市部活動ガイドラインを指導者に配布し、部活動の意義や役割についての理解が深まるように努めた。また、不適切な指導が行われないよう、具体的に指導者に伝えることで、不適応やトラブルを防止することができた。
特に工夫した事項	・熱中症予防に関する研修会や指導者講習会の開催について情報提供を行った。 ・研修会に事務局員が参加し、研修資料の提供を行った。
今後の課題と対応方針	・指導者が多くなるに従い、集合での研修の実施、研修内容の細かい周知が難しい。より子供が安心して活動に取り組めるよう、次年度は指導者と対面での研修を複数回実施していきたい。 ・スポーツ協会と連携し、指導者の研修会を計画し、指導者の確保と育成を図りたい。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

いすみ市は、人口減少、少子化がこれからも進んでいる。現在３校の中学校があり、部活動を実施しているが、部活動数は従前のままとなっている。この状況が続けば、各中学校での部活動においては、子供たちの満足な活動は維持できない。子供たちが活動できる環境を継続的に維持していくためには、地域の協力とともに、環境の整備が喫緊の課題となっている。

令和６年度、ホッケー競技において地域移行を実施するにあたり、実施要綱の整備、兼職兼業の手続き整備を進め、他競技における地域移行を進める第一歩を踏み出すことができた。競技団体や市スポーツ協会との連携を密にすることにより、トラブルや事故なく円滑に運営することができた。本年度は、国の部活動の地域移行に向けた環境整備事業実証事業補助金を活用し、保護者の負担を極力かけずに行ったものである。市の負担、保護者の負担等をより明確にすることができ、また、課題について明確にすることができ、今後の環境整備や保護者、地域、関係団体、指導者等への理解を得るための検証ができたと考える。

●成果の評価

・いすみ市の部活動地域移行について市教育委員会が中心となって行ったことは、関係各所との連携、事務手続きを進めるには大変有効であったと考える。

・いすみ市立中学校地域部活動実施要綱や兼職・兼業についての手続き整備を行い、他の競技の地域移行を進めるにあたり、第一歩を踏み出せた。

・実施要綱や兼職・兼業の手続きを整備することにより、新たな競技団体や指導者の確保を進めることができると考える。

・ホッケー競技において地域移行したことを地域に周知し、いすみ市でも地域移行していくことを発信する必要がある。

●今後に向けて

・各学校、スポーツ協会と連携し、地域移行の可能性のある競技団体、指導者を見出し、年度途中からでも調整を図る体制を確認する。

・競技団体が複数ある種目については、地域部活動と位置付けるための基準を設定する。

・保護者や地域にどのように周知し理解を求めていくか検討する。

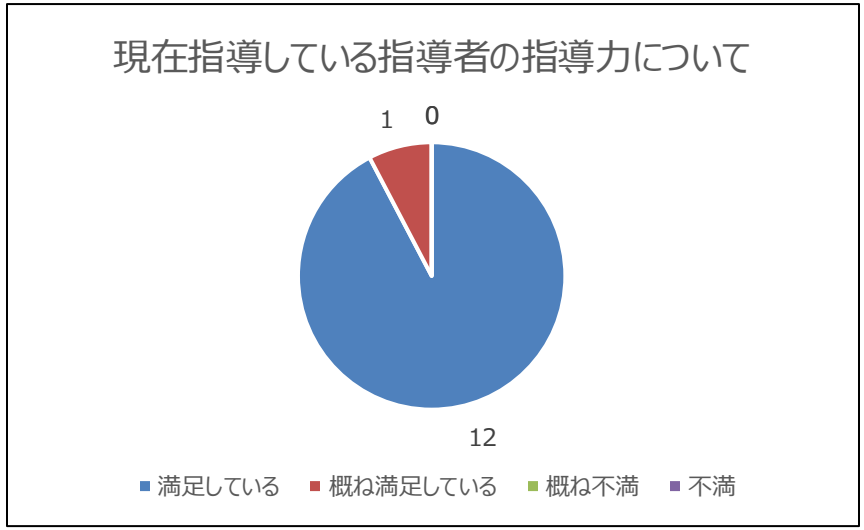
・令和７年度は、各中学校において、１部活動を地域移行する。

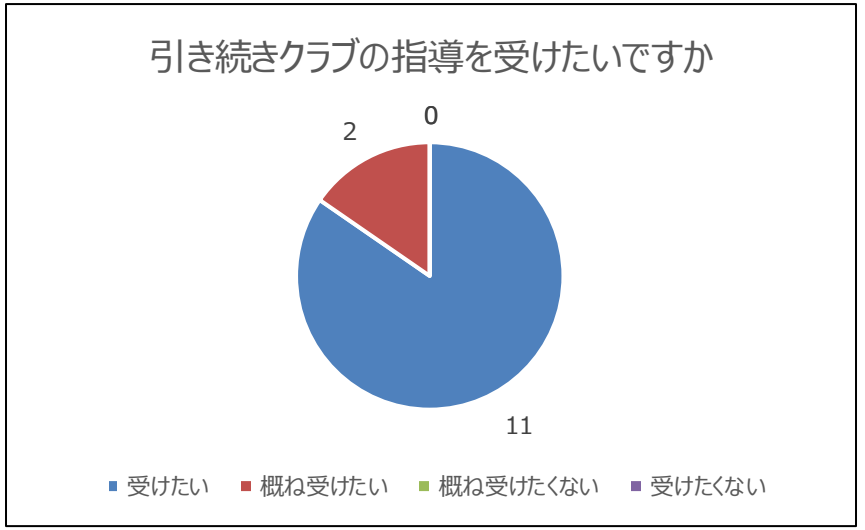
2.実証内容と成果②

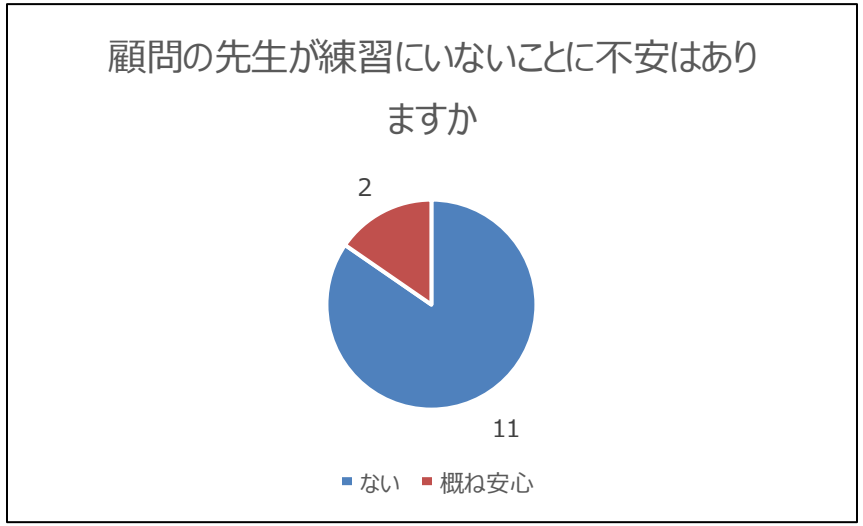
スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果







●分析

・現在指導している指導者の指導力に概ね満足している様子がうかがえる。
・ジュニア（小学生）ホッケー教室や体験会等で指導者と関わってきた生徒が多く、指導者やクラブについての不安が少ないと考えられる。
・顧問も指導者（兼職・兼業届済み）として参画しており、他の指導者と連携が取れている。

●参加者の声

参加生徒
ホッケーをする時間がとても楽しい。上手になっている気がする。指導してくれるコーチも丁寧に教えてくれるので安心できる。

ホッケー部顧
自分が参加することができないときに練習をしてくれて助かる。コーチと指導内容について、細かく連携している。

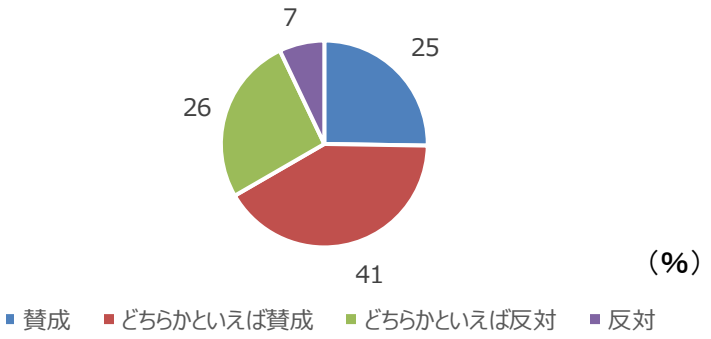
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

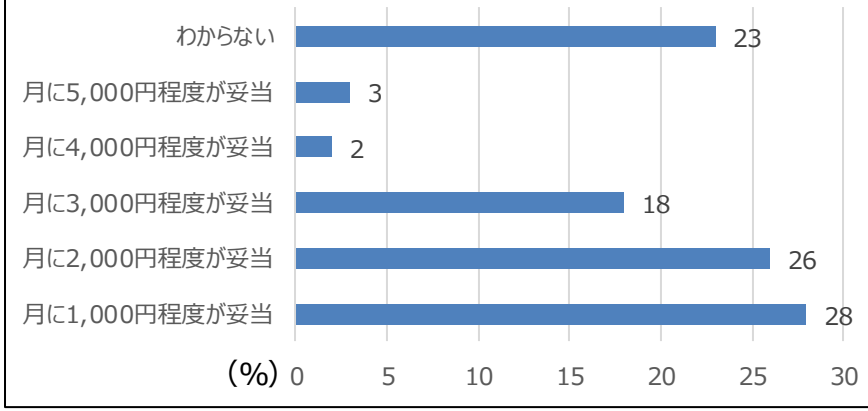
アンケート結果（保護者）

●**アンケート結果**　（回答272名）

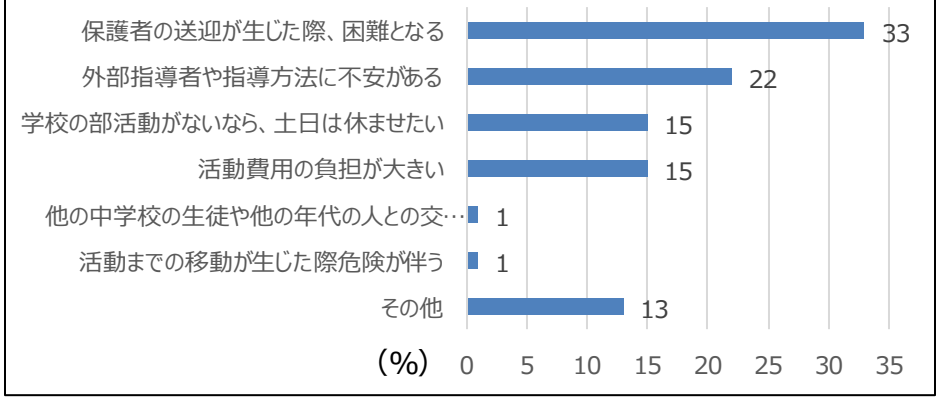
休日の部活動を地域のスポーツクラブや他の団体に移行していくことについて、どう考えますか。



保護者の費用負担額についてどう考えますか



地域移行に反対、どちらかというと反対と答えた方は、理由を教えてください。



分析

・地域移行に肯定的な保護者の割合が高い。賛成の主な理由は、「より専門的な指導を受けることができる」であった。

・反対している保護者の理由は、送迎や指導者への不安や費用負担が上位をしめている。その他は、学校の先生に指導してもらいたいという意見が占めた。

・費用負担については、半数以上が2,000円程度以下と考えている。

・本市は市域が広く、公共交通機関が乏しい。自転車で通えない範囲で実施される場合、保護者の負担が大きくなることが考えられる。

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【ウォーミングアップ】



【実戦練習】



【基本練習】



【練習場】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和４年		令和５年		令和６年		令和7年
協議会設置、検討開始	▶	アンケート調査実施	▶	いすみ市地域部活動協議会	▶	生徒、保護者への説明	▶	ホッケー競技地域クラブ活動の開始	▶	地域クラブ活動の拡大

●協議会設置検討開始

いすみ市部活動地域移行協議会設立に向けての意見交換会の実施

●参加者

いすみ市スポーツ協会長
いすみ市スポーツ少年団長
いすみ市立中学校長会長
いすみ市PTA連絡協議会長
いすみ市文化団体連絡協議会長
いすみ市スポーツ推進委員長

協議会構成員の検討、いすみ市の部活動や各立場から現状を情報提供。子供たちのスポーツ活動等の環境を整備していく必要があることを確認し、令和５年度から協議会を実施することを決定した。

●いすみ市地域部活動協議会

令和５年度から協議会を実施

協議会構成員

・市スポーツ協会長
・市スポーツ推進委員長
・市スポーツ少年団長
・市文化団体連絡協議会長
・いすみ市立中学校長
・いすみ市立中学校ＰＴＡ会長
・いすみ市教育委員会

協議内容

本市における地域部活動の望ましい在り方。方針および計画、取組内容の検討等。

●アンケート調査

対象　中学生、保護者、スポーツ協会所属各団体、各スポーツ少年団

●ホッケー競技の地域移行

・学校、顧問との調整
・競技団体への聞き取り説明
・競技指導者への周知
・参加生徒、保護者への周知
・地域部活動実施要綱の整備
・教員の兼職・兼業手続きの整備

●10月から地域移行開始

令和7年度は各中学校で1部活動の地域移行を予定している。また、令和7年度からコミュニティスクールを導入していく予定である。各中学校区における競技団体や指導者等確保に、部活動地域移行の周知を行う予定である。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度以降
国	改革推進期間		改革実行期間
会議体	いすみ市地域部活動協議会		
検討・協議内容	・地域移行の基本方針検討 ・実証事業（国）の検討 ・運営団体・実施主体の確保 ・兼職兼業 ・指導者の確保・	・推進計画の策定 ・地域連携の推進 ・実証事業（国）の検討 ・費用負担の在り方 ・指導者の確保（部活動指導員の確保含む）	・推進計画に基づいた地域連携の推進 ・実証事業（国）の検討 ・費用負担の在り方 ・指導者の確保（部活動指導員の確保含む）
実施部活動	・ホッケー	・サッカー　陸上競技　テニス	・休日部活動地域移行の段階的推進
指導者	・いすみジュニアホッケークラブ ・教員の兼職兼業	・地域指導者 ・教員の兼職兼業	・地域指導者 ・教員の兼職兼業 ・部活動指導員等の活用